



わいわいだより

令和6年度
3月号
社会福祉法人 中央福祉会
げんきな森中央保育園
たんぼぼ組

日に日に厳しい寒さも和らぎ、日中は過ごしやすい日が多くなりました。1年間を振り返ると、子どもたちは自分でできるようになったことが増え、心も体も大きく成長しました。

残りわずかな日々を大切にしながら、子どもたちと笑顔いっぱい楽しく過ごしていきたいと思えます。

3月のねらい

- ・季節の変わり目の時期を健康で快適に過ごせるようにする。
- ・虫や草花など自然物に触れながら、春の訪れを感じる。
- ・友だちや異年齢児と一緒に戸外でのびのびと体を動かすことを楽しむ。
- ・簡単な身の回りのことを自分でしてみようとする。



鬼の登場の前に、はい、チーズ！

鬼は一そと、福は一うち

2月3日（月）に豆まきをしました。鬼を見つけると、泣いて保育者に抱きついたり、泣きながらも勇敢に豆ボールを投げる子どもの姿がありました。

こわーい！



青鬼、登場！

なに？



寒い日には、足湯を楽しみました。気持ちよくて思わずにっこり笑顔になる子どもたちでした。



どいてー



一人遊びが多かった4月当初。お友だちと一緒に遊ぶことが増え、「いっしょにあそぼう！」「かして！」「ありがとう」など言葉のやり取りを楽しむ姿が見られるようになりました。食事では、スプーンを使って食べられるようになり、食材を見て「これ、何？」「にんじんさん、あった！」と会話を楽しんでいます。保育者と一緒にくつを履いたり、洋服を着脱していた子どもたちが、今では、「自分で履く！」「自分で着る！」と言って、自分で身の回りのことをしようとしている姿があります。自分でできたときには、保育者も一緒に喜び、子どもたちと一緒にうれしさを感じることができました。

一年間、ご理解とご協力をありがとうございました。